

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	松代病院	2	新潟市	新潟市民病院	20
-	柿崎病院	3	見附市	見附市立病院	21
-	津川病院	4	上越市	上越地域医療センター病院	22
-	妙高病院	5	阿賀野市	あがの市民病院	23
-	リウマチセンター	6	佐渡市	佐渡市立両津病院	24
-	坂町病院	7	魚沼市	堀之内病院	25
-	六日町病院	8	魚沼市	小出病院	26
-	加茂病院	9	南魚沼市	ゆきぐに大和病院	27
-	十日町病院	10	南魚沼市	南魚沼市民病院	28
-	小出病院	11	湯沢町	湯沢病院	29
-	中央病院	12	津南町	津南病院	30
-	吉田病院	13	さくら福祉保健事務組合	南部郷厚生病院	31
-	がんセンター	14			
-	新発田病院	15			
-	精神医療センター	16			
-	魚沼基幹病院	17			
-	県央基幹病院	18			
-	燕労災病院	19			

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名		松代病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,656㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

病床利用率・平均在院日数（％・日）				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	40	62.1	63.2	51.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	62.1	63.2	51.3
平均在院日数（一般病床のみ）		19.5	21.8	22.0

貸借対照表（千円）			
区分		決算額	
資産合計		151,832,432	
1 固定資産		111,958,168	
(1) 有形固定資産		106,628,656	
(2) 無形固定資産		30,310	
(3) 投資その他の資産		5,299,202	
2 流動資産		39,874,264	
(1) 現金及び預金		25,566,124	
(2) 未収金及び未収収益		13,925,058	
(3) 貸倒引当金（ ）		236,835	
(4) 貯蔵品		386,704	
3 繰延資産		-	
負債合計		156,373,089	
1 固定負債		96,812,976	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		89,598,010	
(2) その他の企業債		-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-	
(4) その他の長期借入金		-	
(5) 引当金		6,864,114	
(6) リース債務		350,852	
2 流動負債		39,763,010	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		7,820,826	
(2) その他の企業債		-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-	
(4) その他の長期借入金		-	
(5) 引当金		2,161,155	
(6) リース債務		187,246	
(7) 一時借入金		-	
(8) 未払金及び未払費用		29,128,791	
(9) 前受金及び前受収益		-	
3 繰延収益		19,797,103	
(1) 長期前受金		39,299,186	
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）		19,502,083	
(3) 繰延運営権対価		-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額（ ）		-	
(5) 運営権者更新投資		-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額（ ）		-	
資本合計		-4,540,657	
1 資本金		28,989,019	
2 剰余金		-33,529,676	
(1) 資本剰余金		1,288,034	
(2) 利益剰余金		-34,817,710	
負債・資本合計		151,832,432	
不良債務		-	
実質資金不足額		-	
資本不足額（ ）		4,540,657	
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）		-	
備考			
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。			

設立団体の状況		
人口（人）	2,201,272	
決算規模（千円）	1,122,782,289	
標準財政規模（千円）	552,223,066	
財政力指数	0.44787	
経常収支比率（％）	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（％）	-
	連結実質赤字比率（％）	-
	実質公債費比率（％）	18.4
	将来負担比率（％）	297.8

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	382,276	402,648
資本勘定繰入	30,110	20,704
計	412,386	423,352

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（％）
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（％）	55.8
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（％）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（％）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費（経常的経費）に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

設 立 団 体 の 状 況		
人 口 (人)		2,201,272
決 算 規 模 (千円)		1,122,782,289
標 準 財 政 規 模 (千円)		552,223,066
財 政 力 指 数		0.44787
経 常 収 支 比 率 (%)		91.8
健全化 判断比率	実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	連 結 実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	実 質 公 債 費 比 率 (%)	18.4
	将 来 負 担 比 率 (%)	297.8

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	382,276	402,648
資本勘定繰入	30,110	20,704
計	412,386	423,352

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

- 備考：
- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 - 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
 - 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
 - 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名		柿崎病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,492㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	55	59.3	61.0	67.7	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	55	59.3	61.0	67.7	
平均在院日数(一般病床のみ)		26.2	27.9	25.5	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				151,832,432	
1 固定資産				111,958,168	
(1) 有形固定資産				106,628,656	
(2) 無形固定資産				30,310	
(3) 投資その他の資産				5,299,202	
2 流動資産				39,874,264	
(1) 現金及び預金				25,566,124	
(2) 未収金及び未収収益				13,925,058	
(3) 貸倒引当金()				236,835	
(4) 貯蔵品				386,704	
3 繰延資産				-	
負債合計				156,373,089	
1 固定負債				96,812,976	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				89,598,010	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				6,864,114	
(6) リース債務				350,852	
2 流動負債				39,763,010	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				7,820,826	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				2,161,155	
(6) リース債務				187,246	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				29,128,791	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				19,797,103	
(1) 長期前受金				39,299,186	
(2) 長期前受金収益化累計額()				19,502,083	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-4,540,657	
1 資本金				28,989,019	
2 剰余金				-33,529,676	
(1) 資本剰余金				1,288,034	
(2) 利益剰余金				-34,817,710	
負債・資本合計				151,832,432	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				4,540,657	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	424,388	446,510
資本勘定繰入	32,097	44,950
計	456,485	491,460

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,033,638				
1 経常収益	1,033,638				
(1) 医業収益	605,443				
(うち修正医業収益)	570,783				
入院収益	378,698				
外来収益	178,175				
診療収入計	556,873				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	48,570				
(うち他会計負担金)	34,660				
(2) 医業外収益	428,195				
(うち国・都道府県補助金)	539				
(うち他会計補助・負担金)	411,850				
(うち長期前受金戻入)	10,218				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,023,675				
2 経常費用	1,023,675				
(1) 医業費用	1,002,372				
職員給与費	695,037	114.8	58.7	78.7	
材料費	66,868	11.0	26.9	14.5	
(うち薬品費)	23,990	4.0	14.8	7.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,969	5.4	11.7	6.1	
減価償却費	33,866	5.6	8.5	11.8	
経費	197,102	32.6	21.5	32.3	
(うち委託料)	91,506	15.1	11.5	15.3	
研究研修費	1,895				
資産減耗費	7,604				
(2) 医業外費用	21,303				
(うち支払利息)	438	0.1	0.9	1.1	
(3) 特別損失	-				
損益	経常損益	9,963			
	純損益	9,963			
累積欠損金		-			
経常収支比率		101.0	96.5	96.4	
医業収支比率		60.4	86.0	72.4	
修正医業収支比率		56.9	83.2	68.2	
他会計繰入金対経常収益比率		43.2	11.5	24.2	
他会計繰入金対医業収益比率		73.7	13.7	34.4	
他会計繰入金対総収益比率		43.2	11.5	24.2	
実質収益対経常費用比率		57.4	85.4	73.0	

備考:

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名		津川病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,883㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	67	43.9	47.2	47.1	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	67	43.9	47.2	47.1	
平均在院日数(一般病床のみ)		20.4	19.3	19.8	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				151,832,432	
1 固定資産				111,958,168	
(1) 有形固定資産				106,628,656	
(2) 無形固定資産				30,310	
(3) 投資その他の資産				5,299,202	
2 流動資産				39,874,264	
(1) 現金及び預金				25,566,124	
(2) 未収金及び未収収益				13,925,058	
(3) 貸倒引当金()				236,835	
(4) 貯蔵品				386,704	
3 繰延資産				-	
負債合計				156,373,089	
1 固定負債				96,812,976	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				89,598,010	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				6,864,114	
(6) リース債務				350,852	
2 流動負債				39,763,010	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				7,820,826	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				2,161,155	
(6) リース債務				187,246	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				29,128,791	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				19,797,103	
(1) 長期前受金				39,299,186	
(2) 長期前受金収益化累計額()				19,502,083	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-4,540,657	
1 資本金				28,989,019	
2 剰余金				-33,529,676	
(1) 資本剰余金				1,288,034	
(2) 利益剰余金				-34,817,710	
負債・資本合計				151,832,432	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				4,540,657	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	682,967	710,277
資本勘定繰入	31,048	25,105
計	714,015	735,382

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,338,329				
1 経常収益	1,338,329				
(1) 医業収益	636,803				
(うち修正医業収益)	589,915				
入院収益	370,782				
外来収益	208,881				
診療収入計	579,663				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	57,140				
(うち他会計負担金)	46,888				
(2) 医業外収益	701,526				
(うち国・都道府県補助金)	634				
(うち他会計補助・負担金)	663,389				
(うち長期前受金戻入)	27,291				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,287,795				
2 経常費用	1,287,795				
(1) 医業費用	1,260,944				
職員給与費	798,747	125.4	58.7	78.7	
材料費	89,471	14.1	26.9	14.5	
(うち薬品費)	30,783	4.8	14.8	7.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	50,230	7.9	11.7	6.1	
減価償却費	65,619	10.3	8.5	11.8	
経費	304,360	47.8	21.5	32.3	
(うち委託料)	114,124	17.9	11.5	15.3	
研究研修費	1,552				
資産減耗費	1,195				
(2) 医業外費用	26,851				
(うち支払利息)	382	0.1	0.9	1.1	
(3) 特別損失	-				
損益	経常損益	50,534			
	純損益	50,534			
累積欠損金		-			
経常収支比率		103.9	96.5	96.4	
医業収支比率		50.5	86.0	72.4	
修正医業収支比率		46.8	83.2	68.2	
他会計繰入金対経常収益比率		53.1	11.5	24.2	
他会計繰入金対医業収益比率		111.5	13.7	34.4	
他会計繰入金対総収益比率		53.1	11.5	24.2	
実質収益対経常費用比率		48.8	85.4	73.0	

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名		妙高病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,083㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	56	55.1	53.5	57.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	55.1	53.5	57.3
平均在院日数(一般病床のみ)		25.5	24.6	23.0

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		151,832,432		
1 固定資産		111,958,168		
(1) 有形固定資産		106,628,656		
(2) 無形固定資産		30,310		
(3) 投資その他の資産		5,299,202		
2 流動資産		39,874,264		
(1) 現金及び預金		25,566,124		
(2) 未収金及び未収収益		13,925,058		
(3) 貸倒引当金()		236,835		
(4) 貯蔵品		386,704		
3 繰延資産		-		
負債合計		156,373,089		
1 固定負債		96,812,976		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		89,598,010		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		6,864,114		
(6) リース債務		350,852		
2 流動負債		39,763,010		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		7,820,826		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		2,161,155		
(6) リース債務		187,246		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		29,128,791		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		19,797,103		
(1) 長期前受金		39,299,186		
(2) 長期前受金収益化累計額()		19,502,083		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		-4,540,657		
1 資本金		28,989,019		
2 剰余金		-33,529,676		
(1) 資本剰余金		1,288,034		
(2) 利益剰余金		-34,817,710		
負債・資本合計		151,832,432		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		4,540,657		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。				
---	--	--	--	--

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	478,769	499,726
資本勘定繰入	38,806	35,694
計	517,575	535,420

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	55.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書(千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,139,458			
1 経常収益	1,139,458			
(1) 医業収益	585,848			
(うち修正医業収益)	551,081			
入院収益	335,848			
外来収益	201,570			
診療収入計	537,418			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	48,430			
(うち他会計負担金)	34,767			
(2) 医業外収益	553,610			
(うち国・都道府県補助金)	50,634			
(うち他会計補助・負担金)	464,959			
(うち長期前受金戻入)	34,375			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,094,067			
2 経常費用	1,094,067			
(1) 医業費用	1,070,030			
職員給与費	667,110	113.9	58.7	78.7
材料費	66,036	11.3	26.9	14.5
(うち薬品費)	25,023	4.3	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	31,948	5.5	11.7	6.1
減価償却費	85,086	14.5	8.5	11.8
経費	244,004	41.6	21.5	32.3
(うち委託料)	107,678	18.4	11.5	15.3
研究研修費	1,469			
資産減耗費	6,325			
(2) 医業外費用	24,037			
(うち支払利息)	895	0.2	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	45,391		
	純損益	45,391		
累積欠損金		-		
経常収支比率		104.1	96.5	96.4
医業収支比率		54.8	86.0	72.4
修正医業収支比率		51.5	83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率		43.9	11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率		85.3	13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率		43.9	11.5	24.2
実質収益対経常費用比率		58.5	85.4	73.0

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名		リウマチセンター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,303㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	2	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	100	65.0	66.1	66.5	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	100	65.0	66.1	66.5	
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	16.6	17.5	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				151,832,432	
1 固定資産				111,958,168	
(1) 有形固定資産				106,628,656	
(2) 無形固定資産				30,310	
(3) 投資その他の資産				5,299,202	
2 流動資産				39,874,264	
(1) 現金及び預金				25,566,124	
(2) 未収金及び未収収益				13,925,058	
(3) 貸倒引当金()				236,835	
(4) 貯蔵品				386,704	
3 繰延資産				-	
負債合計				156,373,089	
1 固定負債				96,812,976	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				89,598,010	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				6,864,114	
(6) リース債務				350,852	
2 流動負債				39,763,010	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				7,820,826	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				2,161,155	
(6) リース債務				187,246	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				29,128,791	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				19,797,103	
(1) 長期前受金				39,299,186	
(2) 長期前受金収益化累計額()				19,502,083	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-4,540,657	
1 資本金				28,989,019	
2 剰余金				-33,529,676	
(1) 資本剰余金				1,288,034	
(2) 利益剰余金				-34,817,710	
負債・資本合計				151,832,432	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				4,540,657	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	209,889	242,340
資本勘定繰入	36,519	27,898
計	246,408	270,238

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名		坂町病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,223㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
D P C対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 末…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（％・日）				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	148	54.2	52.2	54.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	148	54.2	52.2	54.6
平均在院日数（一般病床のみ）		19.9	20.9	20.5

貸借対照表（千円）			
区分		決算額	
資産合計		151,832,432	
1 固定資産		111,958,168	
(1) 有形固定資産		106,628,656	
(2) 無形固定資産		30,310	
(3) 投資その他の資産		5,299,202	
2 流動資産		39,874,264	
(1) 現金及び預金		25,566,124	
(2) 未収金及び未収収益		13,925,058	
(3) 貸倒引当金（ ）		236,835	
(4) 貯蔵品		386,704	
3 繰延資産		-	
負債合計		156,373,089	
1 固定負債		96,812,976	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		89,598,010	
(2) その他の企業債		-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-	
(4) その他の長期借入金		-	
(5) 引当金		6,864,114	
(6) リース債務		350,852	
2 流動負債		39,763,010	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		7,820,826	
(2) その他の企業債		-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-	
(4) その他の長期借入金		-	
(5) 引当金		2,161,155	
(6) リース債務		187,246	
(7) 一時借入金		-	
(8) 未払金及び未払費用		29,128,791	
(9) 前受金及び前受収益		-	
3 繰延収益		19,797,103	
(1) 長期前受金		39,299,186	
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）		19,502,083	
(3) 繰延運営権対価		-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額（ ）		-	
(5) 運営権者更新投資		-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額（ ）		-	
資本合計		-4,540,657	
1 資本金		28,989,019	
2 剰余金		-33,529,676	
(1) 資本剰余金		1,288,034	
(2) 利益剰余金		-34,817,710	
負債・資本合計		151,832,432	
不良債務		-	
実質資金不足額		-	
資本不足額（ ）		4,540,657	
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）		-	
備考			

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。		
---	--	--

設立団体の状況		
人口（人）	2,201,272	
決算規模（千円）	1,122,782,289	
標準財政規模（千円）	552,223,066	
財政力指数	0.44787	
経常収支比率（％）	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（％）	-
	連結実質赤字比率（％）	-
	実質公債費比率（％）	18.4
	将来負担比率（％）	297.8

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	745,848	806,528
資本勘定繰入	69,041	63,633
計	814,889	870,161

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（％）
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（％）	55.8
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（％）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（％）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費（経常的経費）に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、
減収補填償還例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

設 立 団 体 の 状 況		
人 口 (人)		2,201,272
決 算 規 模 (千円)		1,122,782,289
標 準 財 政 規 模 (千円)		552,223,066
財 政 力 指 数		0.44787
経 常 収 支 比 率 (%)		91.8
健全化 判断比率	実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	連 結 実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	実 質 公 債 費 比 率 (%)	18.4
	将 来 負 担 比 率 (%)	297.8

他 会 計 か ら の 繰 入 状 況 (千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収 益 勘 定 繰 入	745,848	806,528
資 本 勘 定 繰 入	69,041	63,633
計	814,889	870,161

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額 (千円)	不 良 債 務 比 率 (%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資 金 不 足 等 の 状 況	
累 積 欠 損 金 比 率 (%)	55.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)	-
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (%)	-

- 備考：
- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 - 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
 - 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
 - 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名			
				新潟県			
市町村・組合名							
病院名		六日町病院					
施設及び業務概況等							
法適用区分		特殊診療機能					
病院区分		不採算地区病院					
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院					
診療科数	-	指定病院の状況					
許可公営企業		看護配置					
D P C 対象病院	-	経営形態	直営				
		類似区分	100床以上～200床未満				
損益計算書(千円・％)							
区分		決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均		
総収益		-					
1 経常収益		-					
(1) 医業収益		-					
(うち修正医業収益)		-					
入院収益		-					
外来収益		-					
診療収入計		-					
繰延運営権対価収益		-					
運営権者更新投資収益		-					
その他医業収益		-					
(うち他会計負担金)		-					
(2) 医業外収益		-					
(うち国・都道府県補助金)		-					
(うち他会計補助・負担金)		-					
(うち長期前受金戻入)		-					
(うち資本費繰入収益)		-					
(3) 特別利益		-					
(うち他会計繰入金)		-					
総費用		-					
2 経常費用		-					
(1) 医業費用		-					
職員給与費		-	-	58.7	67.7		
材料費		-	-	26.9	18.3		
(うち薬品費)		-	-	14.8	8.6		
(うち薬品費以外の医薬材料費)		-	-	11.7	9.1		
減価償却費		-	-	8.5	10.3		
経費		-	-	21.5	29.4		
(うち委託料)		-	-	11.5	13.6		
研究研修費		-					
資産減耗費		-					
(2) 医業外費用		-					
(うち支払利息)		-	-	0.9	1.1		
(3) 特別損失		-					
損益	経常損益	-					
	純損益	-					
累積欠損金		2,967,357					
経常収支比率		-		96.5	95.4		
医業収支比率		-		86.0	79.1		
修正医業収支比率		-		83.2	74.9		
他会計繰入金対経常収益比率		-		11.5	17.0		
他会計繰入金対医業収益比率		-		13.7	21.8		
他会計繰入金対総収益比率		-		11.5	17.1		
実質収益対経常費用比率		-		85.4	79.2		
備考： 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。							
特殊診療機能欄 指定病院の状況欄 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院							
病床利用率・平均在院日数(％・日)							
区 分	病 床 数	令 和 5 年 度	令 和 4 年 度	令 和 3 年 度			
一 般	-	-	-	-			
療 養	-	-	-	-			
結 核	-	-	-	-			
精 神	-	-	-	-			
感 染 症	-	-	-	-			
計	-	-	-	-			
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-			
貸借対照表(千円)							
区 分				決 算 額			
資 産 合 計				-			
1 固 定 資 産				-			
(1) 有 形 固 定 資 産				-			
(2) 無 形 固 定 資 産				-			
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産				-			
2 流 動 資 産				-			
(1) 現 金 及 び 預 金				-			
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益				-			
(3) 貸 倒 引 当 金 ()				-			
(4) 貯 蔵 品				-			
3 繰 延 資 産				-			
負 債 合 計				-			
1 固 定 負 債				-			
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				-			
(2) そ の 他 の 企 業 債				-			
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-			
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金				-			
(5) 引 当 金				-			
(6) リ ー ス 債 務				-			
2 流 動 負 債				-			
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				-			
(2) そ の 他 の 企 業 債				-			
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-			
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金				-			
(5) 引 当 金				-			
(6) リ ー ス 債 務				-			
(7) 一 時 借 入 金				-			
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用				-			
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益				-			
3 繰 延 収 益				-			
(1) 長 期 前 受 金				-			
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()				-			
(3) 繰 延 運 営 権 対 価				-			
(4) 繰 延 運 営 権 対 価 収 益 化 累 計 額 ()				-			
(5) 運 営 権 者 更 新 投 資				-			
(6) 運 営 権 者 更 新 投 資 収 益 化 累 計 額 ()				-			
資 本 合 計				-			
1 資 本 金				-			
2 剰 余 金				-			
(1) 資 本 剰 余 金				-			
(2) 利 益 剰 余 金				-			
負 債 ・ 資 本 合 計				-			
不 良 債 務				-			
実 質 資 金 不 足 額				-			
資 本 不 足 額 ()				-			
資本不足額(繰延収益控除後) ()				-			
備 考				当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。			
設立団体の状況							
人 口 (人)		2,201,272					
決 算 規 模 (千円)		1,122,782,289					
標 準 財 政 規 模 (千円)		552,223,066					
財 政 力 指 数		0.44787					
経 常 収 支 比 率 (％)		91.8					
健全化 判断比率	実 質 赤 字 比 率 (％)	-					
	連結実質赤字比率 (％)	-					
実 質 公 債 費 比 率 (％)		18.4					
将 来 負 担 比 率 (％)		297.8					
他会計からの繰入状況(千円)							
区 分		基 準 額	実 繰 入 額				
収 益 勘 定 繰 入		629	-				
資 本 勘 定 繰 入		22,623	2,859				
計		23,252	2,859				
不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移							
年 度	不 良 債 務 額 (千円)	不 良 債 務 比 率 (％)					
令和5年度	-	-					
令和4年度	-	-					
令和3年度	-	-					
資金不足等の状況							
累 積 欠 損 金 比 率 (％)		55.8					
健 全 化 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)		-					
健 全 化 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (％)		-					
地 財 法 上 の 資 金 不 足 額 (千円)		-					
地 財 法 上 の 資 金 不 足 比 率 (％)		-					
備考： ・修正医業収益とは、医業収益から その他医業収益のうちの他会計負担金を 除いたもので、修正医業収支比率とは、 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に 占める割合をいう。 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、 「健全化法上の資金不足額」、 「健全化法上の資金不足比率」、 「地財法上の資金不足額」、 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で 算出している。 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の 財政構造の弾力性を判断するための指標で、 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に 支出される経費(経常的経費)に充当された 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債 の合計額に占める割合をいう。							

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名		加茂病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,862㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	156	28.0	32.7	35.9	
療養	12	-	-	-	-
結核	-	-	-	-	-
精神	-	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-	-
計	168	26.0	30.3	33.3	
平均在院日数(一般病床のみ)		27.3	24.4	24.0	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				151,832,432	
1 固定資産				111,958,168	
(1) 有形固定資産				106,628,656	
(2) 無形固定資産				30,310	
(3) 投資その他の資産				5,299,202	
2 流動資産				39,874,264	
(1) 現金及び預金				25,566,124	
(2) 未収金及び未収収益				13,925,058	
(3) 貸倒引当金()				236,835	
(4) 貯蔵品				386,704	
3 繰延資産				-	
負債合計				156,373,089	
1 固定負債				96,812,976	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				89,598,010	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				6,864,114	
(6) リース債務				350,852	
2 流動負債				39,763,010	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				7,820,826	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				2,161,155	
(6) リース債務				187,246	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				29,128,791	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				19,797,103	
(1) 長期前受金				39,299,186	
(2) 長期前受金収益化累計額()				19,502,083	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-4,540,657	
1 資本金				28,989,019	
2 剰余金				-33,529,676	
(1) 資本剰余金				1,288,034	
(2) 利益剰余金				-34,817,710	
負債・資本合計				151,832,432	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				4,540,657	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	292,665	492,197
資本勘定繰入	167,811	167,155
計	460,476	659,352

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名		十日町病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	33,341㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地区医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	275	66.7	64.7	64.5	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	275	66.7	64.7	64.5	
平均在院日数(一般病床のみ)		18.4	19.0	18.3	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				151,832,432	
1 固定資産				111,958,168	
(1) 有形固定資産				106,628,656	
(2) 無形固定資産				30,310	
(3) 投資その他の資産				5,299,202	
2 流動資産				39,874,264	
(1) 現金及び預金				25,566,124	
(2) 未収金及び未収収益				13,925,058	
(3) 貸倒引当金()				236,835	
(4) 貯蔵品				386,704	
3 繰延資産				-	
負債合計				156,373,089	
1 固定負債				96,812,976	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				89,598,010	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				6,864,114	
(6) リース債務				350,852	
2 流動負債				39,763,010	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				7,820,826	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				2,161,155	
(6) リース債務				187,246	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				29,128,791	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				19,797,103	
(1) 長期前受金				39,299,186	
(2) 長期前受金収益化累計額()				19,502,083	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-4,540,657	
1 資本金				28,989,019	
2 剰余金				-33,529,676	
(1) 資本剰余金				1,288,034	
(2) 利益剰余金				-34,817,710	
負債・資本合計				151,832,432	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				4,540,657	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	598,907	657,550
資本勘定繰入	249,190	303,694
計	848,097	961,244

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	5,401,533				
1 経常収益	5,401,533				
(1) 医業収益	4,301,009				
(うち修正医業収益)	4,166,012				
入院収益	3,072,975				
外来収益	1,038,390				
診療収入計	4,111,365				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	189,644				
(うち他会計負担金)	134,997				
(2) 医業外収益	1,100,524				
(うち国・都道府県補助金)	148,029				
(うち他会計補助・負担金)	522,553				
(うち長期前受金戻入)	381,451				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	6,258,201				
2 経常費用	6,258,201				
(1) 医業費用	5,960,371				
職員給与費	3,132,423	72.8	58.7	63.9	
材料費	918,409	21.4	26.9	21.1	
(うち薬品費)	450,525	10.5	14.8	10.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	413,647	9.6	11.7	10.2	
減価償却費	711,995	16.6	8.5	9.3	
経費	1,136,135	26.4	21.5	28.2	
(うち委託料)	545,379	12.7	11.5	14.0	
研究研修費	13,181				
資産減耗費	48,228				
(2) 医業外費用	297,830				
(うち支払利息)	49,208	1.1	0.9	1.0	
(3) 特別損失	-				
損益	経常損益	-856,668			
	純損益	-856,668			
累積欠損金	5,445,179				
経常収支比率	86.3		96.5	93.2	
医業収支比率	72.2		86.0	81.2	
修正医業収支比率	69.9		83.2	77.9	
他会計繰入金対経常収益比率	12.2		11.5	13.2	
他会計繰入金対医業収益比率	15.3		13.7	16.1	
他会計繰入金対総収益比率	12.2		11.5	13.3	
実質収益対経常費用比率	75.8		85.4	80.9	

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)

都道府県名
新潟県

市町村・組合名

小出病院

施設及び業務概況等

法適用区分

病院区分

建物面積

診療科数

許可公営企業

DPC対象病院

特殊診療機能

不採算地区病院

不採算地区中核病院

指定病院の状況

看護配置

経営形態

類似区分

直営

300床以上～400床未満

損益計算書

(千円・%)

区分

決算額

費用
医業収益

全国平均

類似平均

総収益

1 経常収益

(1) 医業収益

(うち修正医業収益)

入院収益

外来収益

診療収入計

繰延運営権対価収益

運営権者更新投資収益

その他医業収益

(うち他会計負担金)

(2) 医業外収益

(うち国・都道府県補助金)

(うち他会計補助・負担金)

(うち長期前受金戻入)

(うち資本費繰入収益)

(3) 特別利益

(うち他会計繰入金)

総費用

2 経常費用

(1) 医業費用

職員給与費

材料費

(うち薬品費)

(うち薬品費以外の医薬材料費)

減価償却費

経費

(うち委託料)

研究研修費

資産減耗費

(2) 医業外費用

(うち支払利息)

(3) 特別損失

損益

経常損益

純損益

累積欠損金

経常収支比率

医業収支比率

修正医業収支比率

他会計繰入金対経常収益比率

他会計繰入金対医業収益比率

他会計繰入金対総収益比率

実質収益対経常費用比率

665,731

96.5

86.0

83.2

11.5

13.7

11.5

85.4

95.9

86.4

83.7

9.8

11.5

9.8

86.4

特殊診療機能欄

指定病院の状況欄

ド...人間ドック
透...人工透析
臨...臨床研修病院
が...がん診療連携拠点病院
地...地域医療支援病院

I...ICU・CCU
未...NICU・未熟児室
感...感染症指定医療機関
特...特定機能病院

訓...運動機能訓練室
ガ...ガン(放射線)診療
へ...へき地医療拠点病院
災...災害拠点病院

病床利用率・平均在院日数

(%・日)

区分

病床数

令和5年度

令和4年度

令和3年度

一般

療養

結核

精神

感染症

計

平均在院日数(一般病床のみ)

-

-

-

-

-

-

-

貸借対照表

(千円)

区分

決算額

資産合計

1 固定資産

(1) 有形固定資産

(2) 無形固定資産

(3) 投資その他の資産

2 流動資産

(1) 現金及び預金

(2) 未収金及び未収収益

(3) 貸倒引当金()

(4) 貯蔵品

3 繰延資産

負債合計

1 固定負債

(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債

(2) その他の企業債

(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

(4) その他の長期借入金

(5) 引当金

(6) リース債務

2 流動負債

(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債

(2) その他の企業債

(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

(4) その他の長期借入金

(5) 引当金

(6) リース債務

(7) 一時借入金

(8) 未払金及び未払費用

(9) 前受金及び前受収益

3 繰延収益

(1) 長期前受金

(2) 長期前受収益化累計額()

(3) 繰延運営権対価

(4) 繰延運営権対価収益化累計額()

(5) 運営権者更新投資

(6) 運営権者更新投資収益化累計額()

資本合計

1 資本金

2 剰余金

(1) 資本金剰余金

(2) 利益剰余金

負債・資本合計

不良債務

実質資金不足額

資本不足額()

資本不足額(繰延収益控除後)()

備考

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名		中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ⅰ未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	37,306㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	Ⅰ…ICU・CCU	末…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数（％・日）				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	524	74.0	75.0	74.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	530	73.2	74.2	73.4
平均在院日数（一般病床のみ）		12.8	13.2	12.7

貸借対照表（千円）				
区分		決算額		
資産合計		151,832,432		
1 固定資産		111,958,168		
(1) 有形固定資産		106,628,656		
(2) 無形固定資産		30,310		
(3) 投資その他の資産		5,299,202		
2 流動資産		39,874,264		
(1) 現金及び預金		25,566,124		
(2) 未収金及び未収収益		13,925,058		
(3) 貸倒引当金（ ）		236,835		
(4) 貯蔵品		386,704		
3 繰延資産		-		
負債合計		156,373,089		
1 固定負債		96,812,976		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		89,598,010		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		6,864,114		
(6) リース債務		350,852		
2 流動負債		39,763,010		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		7,820,826		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		2,161,155		
(6) リース債務		187,246		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		29,128,791		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		19,797,103		
(1) 長期前受金		39,299,186		
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）		19,502,083		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額（ ）		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額（ ）		-		
資本合計		-4,540,657		
1 資本金		28,989,019		
2 剰余金		-33,529,676		
(1) 資本剰余金		1,288,034		
(2) 利益剰余金		-34,817,710		
負債・資本合計		151,832,432		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額（ ）		4,540,657		
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）		-		
備考				
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。				

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,014,772	1,305,090
資本勘定繰入	1,035,553	1,391,940
計	2,050,325	2,697,030

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	55.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名		吉田病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,771㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	199	34.8	35.2	38.3	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	199	34.8	35.2	38.3	
平均在院日数(一般病床のみ)		19.9	18.9	18.3	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				151,832,432	
1 固定資産				111,958,168	
(1) 有形固定資産				106,628,656	
(2) 無形固定資産				30,310	
(3) 投資その他の資産				5,299,202	
2 流動資産				39,874,264	
(1) 現金及び預金				25,566,124	
(2) 未収金及び未収収益				13,925,058	
(3) 貸倒引当金()				236,835	
(4) 貯蔵品				386,704	
3 繰延資産				-	
負債合計				156,373,089	
1 固定負債				96,812,976	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				89,598,010	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				6,864,114	
(6) リース債務				350,852	
2 流動負債				39,763,010	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				7,820,826	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				2,161,155	
(6) リース債務				187,246	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				29,128,791	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				19,797,103	
(1) 長期前受金				39,299,186	
(2) 長期前受金収益化累計額()				19,502,083	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-4,540,657	
1 資本金				28,989,019	
2 剰余金				-33,529,676	
(1) 資本剰余金				1,288,034	
(2) 利益剰余金				-34,817,710	
負債・資本合計				151,832,432	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				4,540,657	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,122,782,289	
標準財政規模(千円)	552,223,066	
財政力指数	0.44787	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.4
	将来負担比率(%)	297.8

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	376,454	582,433
資本勘定繰入	115,008	53,547
計	491,462	635,980

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名		がんセンター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	31,173 ㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
D P C 対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	404	72.9	71.7	74.2	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	404	72.9	71.7	74.2	
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.9	11.6	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				151,832,432	
1 固定資産				111,958,168	
(1) 有形固定資産				106,628,656	
(2) 無形固定資産				30,310	
(3) 投資その他の資産				5,299,202	
2 流動資産				39,874,264	
(1) 現金及び預金				25,566,124	
(2) 未収金及び未収収益				13,925,058	
(3) 貸倒引当金()				236,835	
(4) 貯蔵品				386,704	
3 繰延資産				-	
負債合計				156,373,089	
1 固定負債				96,812,976	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				89,598,010	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				6,864,114	
(6) リース債務				350,852	
2 流動負債				39,763,010	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				7,820,826	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				2,161,155	
(6) リース債務				187,246	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				29,128,791	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				19,797,103	
(1) 長期前受金				39,299,186	
(2) 長期前受金収益化累計額()				19,502,083	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-4,540,657	
1 資本金				28,989,019	
2 剰余金				-33,529,676	
(1) 資本金剰余金				1,288,034	
(2) 利益剰余金				-34,817,710	
負債・資本合計				151,832,432	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				4,540,657	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。					

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,122,782,289	
標準財政規模(千円)	552,223,066	
財政力指数	0.44787	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	実質公債費比率(%)	18.4
	将来負担比率(%)	297.8

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,346,860	1,561,397
資本勘定繰入	400,137	390,082
計	1,746,997	1,951,479

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名		新発田病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	40,233㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救急が被災地輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	429	80.5	81.9	81.4	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	45	56.2	63.0	60.4	
感染症	4	4.6	31.8	48.6	
計	478	77.6	79.7	79.2	
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	13.1	12.1	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				151,832,432	
1 固定資産				111,958,168	
(1) 有形固定資産				106,628,656	
(2) 無形固定資産				30,310	
(3) 投資その他の資産				5,299,202	
2 流動資産				39,874,264	
(1) 現金及び預金				25,566,124	
(2) 未収金及び未収収益				13,925,058	
(3) 貸倒引当金()				236,835	
(4) 貯蔵品				386,704	
3 繰延資産				-	
負債合計				156,373,089	
1 固定負債				96,812,976	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				89,598,010	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				6,864,114	
(6) リース債務				350,852	
2 流動負債				39,763,010	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				7,820,826	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				2,161,155	
(6) リース債務				187,246	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				29,128,791	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				19,797,103	
(1) 長期前受金				39,299,186	
(2) 長期前受金収益化累計額()				19,502,083	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-4,540,657	
1 資本金				28,989,019	
2 剰余金				-33,529,676	
(1) 資本剰余金				1,288,034	
(2) 利益剰余金				-34,817,710	
負債・資本合計				151,832,432	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				4,540,657	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,122,782,289	
標準財政規模(千円)	552,223,066	
財政力指数	0.44787	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	18.4
	将来負担比率(%)	297.8

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,517,831	1,874,323
資本勘定繰入	698,024	1,077,792
計	2,215,855	2,952,115

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名		精神医療センター			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,502㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	4	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	-	-	-	-	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	400	31.5	31.1	30.8	
感染症	-	-	-	-	
計	400	31.5	31.1	30.8	
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				151,832,432	
1 固定資産				111,958,168	
(1) 有形固定資産				106,628,656	
(2) 無形固定資産				30,310	
(3) 投資その他の資産				5,299,202	
2 流動資産				39,874,264	
(1) 現金及び預金				25,566,124	
(2) 未収金及び未収収益				13,925,058	
(3) 貸倒引当金()				236,835	
(4) 貯蔵品				386,704	
3 繰延資産				-	
負債合計				156,373,089	
1 固定負債				96,812,976	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				89,598,010	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				6,864,114	
(6) リース債務				350,852	
2 流動負債				39,763,010	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				7,820,826	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				2,161,155	
(6) リース債務				187,246	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				29,128,791	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				19,797,103	
(1) 長期前受金				39,299,186	
(2) 長期前受金収益化累計額()				19,502,083	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-4,540,657	
1 資本金				28,989,019	
2 剰余金				-33,529,676	
(1) 資本剰余金				1,288,034	
(2) 利益剰余金				-34,817,710	
負債・資本合計				151,832,432	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				4,540,657	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,557,265	1,659,238
資本勘定繰入	337,508	473,972
計	1,894,773	2,133,210

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)

都道府県名
新潟県

市町村・組合名

魚沼基幹病院

施設及び業務概況等

法適用区分

当然財務

特殊診療機能

病院区分

一般病院

不採算地区病院

建物面積

33,549㎡

不採算地区中核病院

第2種該当

診療科数

31

指定病院の状況

救臨が感災

許可公営企業

看護配置

7：1

DPC対象病院

対象

経営形態

指定管理者(利用料金制)

類似区分

400床以上～500床未満

損益計算書

(千円・%)

区分	決算額	費用収益 医業収	全国平均	類似平均
総収益	2,683,837			
1 経常収益	2,683,837			
(1) 医業収益	446,734			
(うち修正医業収益)	37,906			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	446,734			
(うち他会計負担金)	408,828			
(2) 医業外収益	2,237,103			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,361,702			
(うち長期前受金戻入)	840,892			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,622,444			
2 経常費用	2,622,444			
(1) 医業費用	2,483,343			
職員給与費	-	-	58.7	55.7
材料費	-	-	26.9	28.9
(うち薬品費)	-	-	14.8	15.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	12.7
減価償却費	835,431	187.0	8.5	7.9
経費	1,551,303	347.3	21.5	18.1
(うち委託料)	38,233	8.6	11.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	96,609			
(2) 医業外費用	139,101			
(うち支払利息)	102,030	22.8	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	61,393			
純損益	61,393			
累積欠損金	1,167,205			
経常収支比率	102.3		96.5	97.5
医業収支比率	18.0		86.0	90.0
修正医業収支比率	1.5		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	66.0		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	396.3		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	66.0		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	34.8		85.4	88.1

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

特殊診療機能欄
指定病院の状況欄

ド…人間ドック透…人工透析I…ICU・CCU未…NICU・未熟児室訓…運動機能訓練室ガ…ガン（放射線）診療
救…救急告示病院臨…臨床研修病院が…がん診療連携拠点病院感…感染症指定医療機関へ…へき地医療拠点病院災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院特…特定機能病院輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）

区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	400	76.2	71.5	66.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	86.2	62.0	54.2
感染症	4	36.0	26.6	15.3
計	454	77.1	69.9	64.6
平均在院日数（一般病床のみ）		12.1	12.4	12.2

貸借対照表（千円）

区分	決算額
資産合計	151,832,432
1 固定資産	111,958,168
(1) 有形固定資産	106,628,656
(2) 無形固定資産	30,310
(3) 投資その他の資産	5,299,202
2 流動資産	39,874,264
(1) 現金及び預金	25,566,124
(2) 未収金及び未収収益	13,925,058
(3) 貸倒引当金（）	236,835
(4) 貯蔵品	386,704
3 繰延資産	-
負債合計	156,373,089
1 固定負債	96,812,976
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	89,598,010
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	6,864,114
(6) リース債務	350,852
2 流動負債	39,763,010
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,820,826
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,161,155
(6) リース債務	187,246
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	29,128,791
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	19,797,103
(1) 長期前受金	39,299,186
(2) 長期前受金収益化累計額（）	19,502,083
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額（）	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額（）	-
資本合計	-4,540,657
1 資本金	28,989,019
2 剰余金	-33,529,676
(1) 資本金剰余金	1,288,034
(2) 利益剰余金	-34,817,710
負債・資本合計	151,832,432
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（）	4,540,657
資本不足額（繰延収益控除後）（）	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名		県央基幹病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	45,390㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	400床以上～500床未満		

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	396	32.9	-	-	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	4	-	-	-	
計	400	32.6	-	-	
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	-	-	

貸借対照表				(千円)
区分			決算額	
資産合計				151,832,432
1 固定資産				111,958,168
(1) 有形固定資産				106,628,656
(2) 無形固定資産				30,310
(3) 投資その他の資産				5,299,202
2 流動資産				39,874,264
(1) 現金及び預金				25,566,124
(2) 未収金及び未収収益				13,925,058
(3) 貸倒引当金()				236,835
(4) 貯蔵品				386,704
3 繰延資産				-
負債合計				156,373,089
1 固定負債				96,812,976
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				89,598,010
(2) その他の企業債				-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-
(4) その他の長期借入金				-
(5) 引当金				6,864,114
(6) リース債務				350,852
2 流動負債				39,763,010
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				7,820,826
(2) その他の企業債				-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-
(4) その他の長期借入金				-
(5) 引当金				2,161,155
(6) リース債務				187,246
(7) 一時借入金				-
(8) 未払金及び未払費用				29,128,791
(9) 前受金及び前受収益				-
3 繰延収益				19,797,103
(1) 長期前受金				39,299,186
(2) 長期前受金収益化累計額()				19,502,083
(3) 繰延運営権対価				-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-
(5) 運営権者更新投資				-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-
資本合計				-4,540,657
1 資本金				28,989,019
2 剰余金				-33,529,676
(1) 資本剰余金				1,288,034
(2) 利益剰余金				-34,817,710
負債・資本合計				151,832,432
不良債務				-
実質資金不足額				-
資本不足額()				4,540,657
資本不足額(繰延収益控除後)()				-
備考				
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。				

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,122,782,289	
標準財政規模(千円)	552,223,066	
財政力指数	0.44787	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	実質公債費比率(%)	18.4
	将来負担比率(%)	297.8

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	35,049	1,080,267
資本勘定繰入	130,799	1,329,465
計	165,848	2,409,732

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名					
病院名		燕労災病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,926㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上～400床未満		

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	300	68.3	67.7	64.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	68.3	67.7	64.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	14.0	15.7

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		151,832,432		
1 固定資産		111,958,168		
(1) 有形固定資産		106,628,656		
(2) 無形固定資産		30,310		
(3) 投資その他の資産		5,299,202		
2 流動資産		39,874,264		
(1) 現金及び預金		25,566,124		
(2) 未収金及び未収収益		13,925,058		
(3) 貸倒引当金()		236,835		
(4) 貯蔵品		386,704		
3 繰延資産		-		
負債合計		156,373,089		
1 固定負債		96,812,976		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		89,598,010		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		6,864,114		
(6) リース債務		350,852		
2 流動負債		39,763,010		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		7,820,826		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		2,161,155		
(6) リース債務		187,246		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		29,128,791		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		19,797,103		
(1) 長期前受金		39,299,186		
(2) 長期前受金収益化累計額()		19,502,083		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		-4,540,657		
1 資本金		28,989,019		
2 剰余金		-33,529,676		
(1) 資本剰余金		1,288,034		
(2) 利益剰余金		-34,817,710		
負債・資本合計		151,832,432		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		4,540,657		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。		
---	--	--

設立団体の状況		
人口(人)	2,201,272	
決算規模(千円)	1,122,782,289	
標準財政規模(千円)	552,223,066	
財政力指数	0.44787	
経常収支比率(％)	91.8	
健全化	実質赤字比率(％)	-
	連結実質赤字比率(％)	-
判断比率	実質公債費比率(％)	18.4
	将来負担比率(％)	297.8

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	198,829	278,681
資本勘定繰入	63,262	126,525
計	262,091	405,206

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	55.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

設 立 団 体 の 状 況		
人 口 (人)		2,201,272
決 算 規 模 (千円)		1,122,782,289
標 準 財 政 規 模 (千円)		552,223,066
財 政 力 指 数		0.44787
経 常 収 支 比 率 (%)		91.8
健全化 判断比率	実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	連 結 実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	実 質 公 債 費 比 率 (%)	18.4
	将 来 負 担 比 率 (%)	297.8

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	198,829	278,681
資本勘定繰入	63,262	126,525
計	262,091	405,206

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

- 備考：
- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 - 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
 - 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
 - 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)

都道府県名
新潟県

市町村・組合名
新潟市

病院名
新潟市民病院

施設及び業務概況等

法適用区分
条例全部

特殊診療機能
ド透Ⅰ未訓Ⅱ

病院区分
一般病院

不採算地区病院
非該当

建物面積
58,109㎡

不採算地区中核病院
非該当

診療科数
36

指定病院の状況
救Ⅱが感Ⅱ災Ⅱ地Ⅱ輪Ⅱ

許可公営企業
DPC対象病院

対象

類似区分
500床以上

損益計算書

(千円・%)

区分

決算額

費用収益
医業収

全国平均

類似平均

総収益

27,957,869

1 経常収益

27,951,279

(1) 医業収益

24,049,337

(うち修正医業収益)

23,267,874

入院収益

16,397,209

外来収益

6,496,119

診療収入計

22,893,328

繰延運営権対価収益

-

運営権者更新投資収益

-

その他医業収益

1,156,009

(うち他会計負担金)

781,463

(2) 医業外収益

3,901,942

(うち国・都道府県補助金)

422,163

(うち他会計補助・負担金)

2,073,318

(うち長期前受金戻入)

1,049,759

(うち資本費繰入収益)

-

(3) 特別利益

6,590

(うち他会計繰入金)

-

総費用

28,662,872

2 経常費用

28,648,591

(1) 医業費用

26,951,857

職員給与費

12,837,565

53.4

58.7

51.4

材料費

8,154,868

33.9

26.9

32.6

(うち薬品費)

4,479,275

18.6

14.8

18.5

(うち薬品費以外の医薬材料費)

3,675,593

15.3

11.7

13.9

減価償却費

2,007,418

8.3

8.5

7.4

経費

3,839,173

16.0

21.5

16.9

(うち委託料)

2,488,964

10.3

11.5

10.0

研究研修費

83,954

資産減耗費

28,879

(2) 医業外費用

1,696,734

(うち支払利息)

320,898

1.3

0.9

0.8

(3) 特別損失

14,281

損益

経常損益

-697,312

純損益

-705,003

累積欠損金

6,286,850

経常収支比率

97.6

96.5

97.6

医業収支比率

89.2

86.0

91.7

修正医業収支比率

86.3

83.2

89.8

他会計繰入金対経常収益比率

10.2

11.5

7.2

他会計繰入金対医業収益比率

11.9

13.7

8.1

他会計繰入金対総収益比率

10.2

11.5

7.2

実質収益対経常費用比率

87.6

85.4

90.5

備考:

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

特殊診療機能欄
指定病院の状況欄

ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)

区分

病床数

令和5年度

令和4年度

令和3年度

一般

652

83.1

80.0

77.0

療養

-

-

-

-

結核

-

-

-

-

精神

16

21.8

26.5

27.5

感染症

8

4.8

105.3

92.4

計

676

80.7

79.0

76.0

平均在院日数(一般病床のみ)

11.2

11.9

11.5

貸借対照表

(千円)

区分

決算額

資産合計

28,074,302

1 固定資産

16,563,656

(1) 有形固定資産

16,237,359

(2) 無形固定資産

5,808

(3) 投資その他の資産

320,489

2 流動資産

11,510,646

(1) 現金及び預金

7,471,141

(2) 未収金及び未収収益

3,921,109

(3) 貸倒引当金()

28,042

(4) 貯蔵品

146,438

3 繰延資産

-

負債合計

27,046,198

1 固定負債

21,504,071

(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債

16,469,003

(2) その他の企業債

-

(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

-

(4) その他の長期借入金

-

(5) 引当金

5,008,789

(6) リース債務

26,279

2 流動負債

5,120,905

(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債

1,648,254

(2) その他の企業債

-

(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金

-

(4) その他の長期借入金

-

(5) 引当金

785,155

(6) リース債務

16,841

(7) 一時借入金

-

(8) 未払金及び未払費用

2,557,894

(9) 前受金及び前受収益

-

3 繰延収益

421,222

(1) 長期前受金

15,319,131

(2) 長期前受金収益化累計額()

14,897,909

(3) 繰延運営権対価

-

(4) 繰延運営権対価収益化累計額()

-

(5) 運営権者更新投資

-

(6) 運営権者更新投資収益化累計額()

-

資本合計

1,028,104

1 資本金

7,307,820

2 剰余金

-6,279,716

(1) 資本金剰余金

7,134

(2) 利益剰余金

-6,286,850

負債・資本合計

28,074,302

不良債務

-

実質資金不足額

-

資本不足額()

-

資本不足額(繰延収益控除後)()

-

備考

設立団体の状況

人口(人)

789,275

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名		見附市			
病院名		見附市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,283㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	94	88.5	88.1	78.1	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	94	88.5	88.1	78.1	
平均在院日数(一般病床のみ)		24.3	24.5	22.9	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				3,436,543	
1 固定資産				2,616,912	
(1) 有形固定資産				2,606,793	
(2) 無形固定資産				10,119	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				819,631	
(1) 現金及び預金				140,930	
(2) 未収金及び未収収益				676,489	
(3) 貸倒引当金()				7,724	
(4) 貯蔵品				9,916	
3 繰延資産				-	
負債合計				3,653,741	
1 固定負債				2,223,630	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,552,845	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				670,785	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				324,558	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				113,485	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				89,332	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				109,759	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				1,105,553	
(1) 長期前受金				2,411,865	
(2) 長期前受金収益化累計額()				1,306,312	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				-217,198	
1 資本金				1,252,245	
2 剰余金				-1,469,443	
(1) 資本剰余金				18,657	
(2) 利益剰余金				-1,488,100	
負債・資本合計				3,436,543	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				217,198	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	2,326,694				
1 経常収益	2,325,594				
(1) 医業収益	1,913,390				
(うち修正医業収益)	1,877,096				
入院収益	936,132				
外来収益	378,226				
診療収入計	1,314,358				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	599,032				
(うち他会計負担金)	36,294				
(2) 医業外収益	412,204				
(うち国・都道府県補助金)	89				
(うち他会計補助・負担金)	315,706				
(うち長期前受金戻入)	81,287				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	1,100				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,350,825				
2 経常費用	2,350,815				
(1) 医業費用	2,274,160				
職員給与費	1,486,539	77.7	58.7	78.7	
材料費	142,367	7.4	26.9	14.5	
(うち薬品費)	66,111	3.5	14.8	7.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,865	1.6	11.7	6.1	
減価償却費	174,779	9.1	8.5	11.8	
経費	457,669	23.9	21.5	32.3	
(うち委託料)	192,662	10.1	11.5	15.3	
研究研修費	7,577				
資産減耗費	5,229				
(2) 医業外費用	76,655				
(うち支払利息)	10,449	0.5	0.9	1.1	
(3) 特別損失	10				
損益	経常損益	-25,221			
	純損益	-24,131			
累積欠損金	1,488,100				
経常収支比率	98.9		96.5	96.4	
医業収支比率	84.1		86.0	72.4	
修正医業収支比率	82.5		83.2	68.2	
他会計繰入金対経常収益比率	15.1		11.5	24.2	
他会計繰入金対医業収益比率	18.4		13.7	34.4	
他会計繰入金対総収益比率	15.1		11.5	24.2	
実質収益対経常費用比率	84.0		85.4	73.0	

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	282,500	352,000
資本勘定繰入	21,119	24,500
計	303,619	376,500

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	77.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名		上越市			
病院名		上越地域医療センター病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,956㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	8	指定病院の状況	救療輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	142	65.9	60.4	70.7
療養	55	85.9	78.0	80.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	197	71.5	65.3	73.5
平均在院日数(一般病床のみ)		21.0	21.0	20.9

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		3,566,081		
1 固定資産		2,695,792		
(1) 有形固定資産		2,653,500		
(2) 無形固定資産		-		
(3) 投資その他の資産		42,292		
2 流動資産		870,289		
(1) 現金及び預金		450,316		
(2) 未収金及び未収収益		445,450		
(3) 貸倒引当金()		25,477		
(4) 貯蔵品		-		
3 繰延資産		-		
負債合計		2,782,732		
1 固定負債		1,678,959		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		1,145,233		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		533,726		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		505,522		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		261,038		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		131,948		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		112,536		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		598,251		
(1) 長期前受金		2,709,832		
(2) 長期前受金収益化累計額()		2,111,581		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		783,349		
1 資本金		-		
2 剰余金		783,349		
(1) 資本剰余金		1,052,000		
(2) 利益剰余金		-268,651		
負債・資本合計		3,566,081		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	353,517	353,517
資本勘定繰入	88,502	88,502
計	442,019	442,019

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	16.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書(千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,609,948			
1 経常収益	2,609,948			
(1) 医業収益	2,179,264			
(うち修正医業収益)	2,175,651			
入院収益	1,699,963			
外来収益	420,141			
診療収入計	2,120,104			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	59,160			
(うち他会計負担金)	3,613			
(2) 医業外収益	430,684			
(うち国・都道府県補助金)	1,534			
(うち他会計補助・負担金)	349,904			
(うち長期前受金戻入)	69,916			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,863,372			
2 経常費用	2,863,372			
(1) 医業費用	2,768,855			
職員給与費	7,646	0.4	58.7	67.7
材料費	-	-	26.9	18.3
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	9.1
減価償却費	118,028	5.4	8.5	10.3
経費	2,640,948	121.2	21.5	29.4
(うち委託料)	2,412,475	110.7	11.5	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	2,233			
(2) 医業外費用	94,517			
(うち支払利息)	11,405	0.5	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	-253,424		
	純損益	-253,424		
累積欠損金	348,651			
経常収支比率	91.1		96.5	95.4
医業収支比率	78.7		86.0	79.1
修正医業収支比率	78.6		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	13.5		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	16.2		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	13.5		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	78.8		85.4	79.2

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名		阿賀野市			
病院名		あがの市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,192㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	臨輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	196	63.8	63.8	62.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	196	63.8	63.8	62.6
平均在院日数(一般病床のみ)		24.1	15.9	17.0

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		6,615,772		
1 固定資産		5,959,944		
(1) 有形固定資産		5,959,412		
(2) 無形固定資産		532		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		655,828		
(1) 現金及び預金		628,980		
(2) 未収金及び未収収益		26,848		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		-		
3 繰延資産		-		
負債合計		5,468,331		
1 固定負債		4,383,817		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		4,383,817		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		720,396		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		192,743		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		420		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		527,217		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		364,118		
(1) 長期前受金		1,741,056		
(2) 長期前受金収益化累計額()		1,376,938		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		1,147,441		
1 資本金		8,744,639		
2 剰余金		-7,597,198		
(1) 資本剰余金		1,430,000		
(2) 利益剰余金		-9,027,198		
負債・資本合計		6,615,772		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

設立団体の状況		
人口(人)	40,696	
決算規模(千円)	23,411,057	
標準財政規模(千円)	13,092,528	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	89.2	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.8
	将来負担比率(%)	58.4

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	36,734	87,246
資本勘定繰入	379,542	663,533
計	416,276	750,779

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	535421.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名		佐渡市			
病院名		佐渡市立両津病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,097㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	99	50.9	48.4	52.5	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	99	50.9	48.4	52.5	
平均在院日数(一般病床のみ)		23.4	23.8	19.2	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				3,723,606	
1 固定資産				2,524,149	
(1) 有形固定資産				2,508,993	
(2) 無形固定資産				1,165	
(3) 投資その他の資産				13,991	
2 流動資産				1,199,457	
(1) 現金及び預金				973,358	
(2) 未収金及び未収収益				214,733	
(3) 貸倒引当金()				584	
(4) 貯蔵品				1,564	
3 繰延資産				-	
負債合計				2,049,671	
1 固定負債				1,601,890	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,601,890	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				272,270	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				43,938	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				59,520	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				160,237	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				175,511	
(1) 長期前受金				447,314	
(2) 長期前受金収益化累計額()				271,803	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				1,673,935	
1 資本金				4,710,625	
2 剰余金				-3,036,690	
(1) 資本剰余金				1,546,813	
(2) 利益剰余金				-4,583,503	
負債・資本合計				3,723,606	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)			
区分	基準額	実繰入額	
収益勘定繰入	254,777	258,423	
資本勘定繰入	7,593	202,088	
計	262,370	460,511	

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	350.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,565,779				
1 経常収益	1,565,779				
(1) 医業収益	1,306,284				
(うち修正医業収益)	1,247,899				
入院収益	675,143				
外来収益	516,567				
診療収入計	1,191,710				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	114,574				
(うち他会計負担金)	58,385				
(2) 医業外収益	259,495				
(うち国・都道府県補助金)	17,607				
(うち他会計補助・負担金)	200,038				
(うち長期前受金戻入)	27,043				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,797,761				
2 経常費用	1,796,864				
(1) 医業費用	1,739,937				
職員給与費	959,297	73.4	58.7	78.7	
材料費	180,576	13.8	26.9	14.5	
(うち薬品費)	76,052	5.8	14.8	7.7	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	94,771	7.3	11.7	6.1	
減価償却費	103,557	7.9	8.5	11.8	
経費	492,586	37.7	21.5	32.3	
(うち委託料)	196,377	15.0	11.5	15.3	
研究研修費	2,604				
資産減耗費	1,317				
(2) 医業外費用	56,927				
(うち支払利息)	6,166	0.5	0.9	1.1	
(3) 特別損失	897				
損益	経常損益	-231,085			
	純損益	-231,982			
累積欠損金	4,583,503				
経常収支比率	87.1		96.5	96.4	
医業収支比率	75.1		86.0	72.4	
修正医業収支比率	71.7		83.2	68.2	
他会計繰入金対経常収益比率	16.5		11.5	24.2	
他会計繰入金対医業収益比率	19.8		13.7	34.4	
他会計繰入金対総収益比率	16.5		11.5	24.2	
実質収益対経常費用比率	72.8		85.4	73.0	

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名		魚沼市			
病院名		堀之内病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
D P C 対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院		

病床利用率・平均在院日数（％・日）					
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	-	-	-	-	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	-	-	-	-	
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-	

貸借対照表（千円）				
区分			決算額	
資産合計			-	
1 固定資産			-	
(1) 有形固定資産			-	
(2) 無形固定資産			-	
(3) 投資その他の資産			-	
2 流動資産			-	
(1) 現金及び預金			-	
(2) 未収金及び未収収益			-	
(3) 貸倒引当金（ ）			-	
(4) 貯蔵品			-	
3 繰延資産			-	
負債合計			-	
1 固定負債			-	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債			-	
(2) その他の企業債			-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金			-	
(4) その他の長期借入金			-	
(5) 引当金			-	
(6) リース債務			-	
2 流動負債			-	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債			-	
(2) その他の企業債			-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金			-	
(4) その他の長期借入金			-	
(5) 引当金			-	
(6) リース債務			-	
(7) 一時借入金			-	
(8) 未払金及び未払費用			-	
(9) 前受金及び前受収益			-	
3 繰延収益			-	
(1) 長期前受金			-	
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）			-	
(3) 繰延運営権対価			-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額（ ）			-	
(5) 運営権者更新投資			-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額（ ）			-	
資本合計			-	
1 資本金			-	
2 剰余金			-	
(1) 資本剰余金			-	
(2) 利益剰余金			-	
負債・資本合計			-	
不良債務			-	
実質資金不足額			-	
資本不足額（ ）			-	
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）			-	
備考			当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,543	3,815
資本勘定繰入	24,073	36,109
計	26,616	39,924

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率（％）
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況		
累積欠損金比率（％）	3714.9	
健全化法上の資金不足額(千円)	-	
健全化法上の資金不足比率（％）	-	
地財法上の資金不足額(千円)	-	
地財法上の資金不足比率（％）	-	

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：	「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。
-----	--

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名		魚沼市			
病院名		小出病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	14,375㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上～200床未満		

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	90	91.8	90.6	84.2
療養	44	88.5	95.3	83.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	134	90.7	92.2	83.9
平均在院日数(一般病床のみ)		17.7	19.1	20.8

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		4,753,035		
1 固定資産		4,124,177		
(1) 有形固定資産		4,124,177		
(2) 無形固定資産		-		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		628,858		
(1) 現金及び預金		470,401		
(2) 未収金及び未収収益		158,829		
(3) 貸倒引当金()		372		
(4) 貯蔵品		-		
3 繰延資産		-		
負債合計		4,700,711		
1 固定負債		3,145,240		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		3,145,240		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		531,833		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		424,514		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		381		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		106,938		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		1,023,638		
(1) 長期前受金		3,082,252		
(2) 長期前受金収益化累計額()		2,058,614		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		52,324		
1 資本金		1,405,074		
2 剰余金		-1,352,750		
(1) 資本剰余金		184,650		
(2) 利益剰余金		-1,537,400		
負債・資本合計		4,753,035		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。				
---	--	--	--	--

設立団体の状況		
人口(人)	34,483	
決算規模(千円)	33,838,800	
標準財政規模(千円)	15,965,151	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(％)	91.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(％)	-
	連結実質赤字比率(％)	-
	実質公債費比率(％)	8.8
	将来負担比率(％)	7.1

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	476,466	532,116
資本勘定繰入	206,236	371,794
計	682,702	903,910

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	3714.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填償特別分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

設 立 団 体 の 状 況	
人 口 (人)	
34,483	
決 算 規 模 (千円)	
33,838,800	
標 準 財 政 規 模 (千円)	
15,965,151	
財 政 力 指 数	
0.28	
経 常 収 支 比 率 (%)	
91.4	
健全化 判断比率	実 質 赤 字 比 率 (%)
	-
	連 結 実 質 赤 字 比 率 (%)
	-
	実 質 公 債 費 比 率 (%)
	8.8
	将 来 負 担 比 率 (%)
	7.1

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	476,466	532,116
資本勘定繰入	206,236	371,794
計	682,702	903,910

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3714.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

- 備考：
- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 - 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
 - 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
 - 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名		南魚沼市			
病院名		ゆきぐに大和病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,121㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救へ		
許可公営企業		看護配置	13：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	45	83.3	89.8	90.3	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	45	83.3	89.8	90.3	
平均在院日数(一般病床のみ)		29.4	30.4	26.8	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				7,542,762	
1 固定資産				6,216,271	
(1) 有形固定資産				6,215,132	
(2) 無形固定資産				1,139	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				1,326,491	
(1) 現金及び預金				448,217	
(2) 未収金及び未収収益				797,964	
(3) 貸倒引当金()				6,324	
(4) 貯蔵品				83,447	
3 繰延資産				-	
負債合計				5,938,959	
1 固定負債				2,818,168	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				2,611,768	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				206,400	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				2,411,857	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,456,370	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				172,350	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				400,000	
(8) 未払金及び未払費用				378,863	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				708,934	
(1) 長期前受金				1,502,679	
(2) 長期前受金収益化累計額()				793,745	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				1,603,803	
1 資本金				6,177,009	
2 剰余金				-4,573,206	
(1) 資本剰余金				20,790	
(2) 利益剰余金				-4,593,996	
負債・資本合計				7,542,762	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	167,816	169,754
資本勘定繰入	50,630	50,630
計	218,446	220,384

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	93.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名		南魚沼市			
病院名		南魚沼市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ⅰ訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,890㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	26	指定病院の状況	救輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	140	83.3	80.2	76.6	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	140	83.3	80.2	76.6	
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	15.0	17.0	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				7,542,762	
1 固定資産				6,216,271	
(1) 有形固定資産				6,215,132	
(2) 無形固定資産				1,139	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				1,326,491	
(1) 現金及び預金				448,217	
(2) 未収金及び未収収益				797,964	
(3) 貸倒引当金()				6,324	
(4) 貯蔵品				83,447	
3 繰延資産				-	
負債合計				5,938,959	
1 固定負債				2,818,168	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				2,611,768	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				206,400	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				2,411,857	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,456,370	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				172,350	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				400,000	
(8) 未払金及び未払費用				378,863	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				708,934	
(1) 長期前受金				1,502,679	
(2) 長期前受金収益化累計額()				793,745	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				1,603,803	
1 資本金				6,177,009	
2 剰余金				-4,573,206	
(1) 資本剰余金				20,790	
(2) 利益剰余金				-4,593,996	
負債・資本合計				7,542,762	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	417,631	423,631
資本勘定繰入	170,429	363,847
計	588,060	787,478

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	93.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名		湯沢町			
病院名		湯沢病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	10,090㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救臨輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	40	60.8	65.8	62.3	
療養	-	40.1	61.8	70.7	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	40	51.4	63.6	67.0	
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	18.8	16.2	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				3,086,312	
1 固定資産				2,394,944	
(1) 有形固定資産				2,394,944	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				691,368	
(1) 現金及び預金				662,920	
(2) 未収金及び未収収益				28,448	
(3) 貸倒引当金()				-	
(4) 貯蔵品				-	
3 繰延資産				-	
負債合計				1,025,780	
1 固定負債				281,669	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				281,669	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				98,928	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				81,866	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				527	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				16,535	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				645,183	
(1) 長期前受金				1,831,390	
(2) 長期前受金収益化累計額()				1,186,207	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				2,060,532	
1 資本金				2,080,301	
2 剰余金				-19,769	
(1) 資本金剰余金				360,279	
(2) 利益剰余金				-380,048	
負債・資本合計				3,086,312	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	344,388				
1 経常収益	344,388				
(1) 医業収益	41,380				
(うち修正医業収益)	-				
入院収益	-				
外来収益	-				
診療収入計	-				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	41,380				
(うち他会計負担金)	41,380				
(2) 医業外収益	303,008				
(うち国・都道府県補助金)	-				
(うち他会計補助・負担金)	267,960				
(うち長期前受金戻入)	34,471				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	300,510				
2 経常費用	300,510				
(1) 医業費用	297,567				
職員給与費	5,939	14.4	58.7	89.5	
材料費	-	-	26.9	13.4	
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.2	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	5.5	
減価償却費	95,148	229.9	8.5	14.0	
経費	195,344	472.1	21.5	46.3	
(うち委託料)	9,306	22.5	11.5	22.2	
研究研修費	-				
資産減耗費	1,136				
(2) 医業外費用	2,943				
(うち支払利息)	2,702	6.5	0.9	1.0	
(3) 特別損失	-				
損益	経常損益	43,878			
	純損益	43,878			
累積欠損金	380,048				
経常収支比率	114.6		96.5	97.3	
医業収支比率	13.9		86.0	60.9	
修正医業収支比率	-		83.2	56.2	
他会計繰入金対経常収益比率	89.8		11.5	35.0	
他会計繰入金対医業収益比率	747.6		13.7	59.4	
他会計繰入金対総収益比率	89.8		11.5	35.0	
実質収益対経常費用比率	11.7		85.4	63.3	

備考：	
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	302,897	309,340
資本勘定繰入	34,039	68,480
計	336,936	377,820

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	918.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名		津南町			
病院名		津南病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	7,163㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック透…人工透析I…ICU・CCU末…NICU・未熟児室訓…運動機能訓練室ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院臨…臨床研修病院が…がん診療連携拠点病院感…感染症指定医療機関へ…へき地医療拠点病院災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院特…特定機能病院輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	45	79.2	74.7	80.8
療養	52	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	97	79.2	74.7	80.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	14.5	13.9

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		1,000,786		
1 固定資産		540,049		
(1) 有形固定資産		540,049		
(2) 無形固定資産		-		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		460,737		
(1) 現金及び預金		313,192		
(2) 未収金及び未収収益		140,961		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		6,562		
3 繰延資産		-		
負債合計		266,439		
1 固定負債		74,390		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		10,202		
(2) その他の企業債		34,800		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		29,388		
2 流動負債		171,077		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		13,812		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		37,713		
(6) リース債務		47,421		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		64,534		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		20,972		
(1) 長期前受金		38,341		
(2) 長期前受金収益化累計額()		17,369		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		734,347		
1 資本金		1,829,247		
2 剰余金		-1,094,900		
(1) 資本剰余金		-		
(2) 利益剰余金		-1,094,900		
負債・資本合計		1,000,786		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	171,447	381,931
資本勘定繰入	26,455	26,455
計	197,902	408,386

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	108.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書(千円・％)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,359,286			
1 経常収益	1,359,165			
(1) 医業収益	1,007,731			
(うち修正医業収益)	970,372			
入院収益	461,716			
外来収益	433,569			
診療収入計	895,285			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	112,446			
(うち他会計負担金)	37,359			
(2) 医業外収益	351,434			
(うち国・都道府県補助金)	612			
(うち他会計補助・負担金)	344,572			
(うち長期前受金戻入)	1,934			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	121			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,352,810			
2 経常費用	1,351,910			
(1) 医業費用	1,312,828			
職員給与費	618,661	61.4	58.7	78.7
材料費	116,610	11.6	26.9	14.5
(うち薬品費)	53,412	5.3	14.8	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	53,065	5.3	11.7	6.1
減価償却費	60,617	6.0	8.5	11.8
経費	514,428	51.0	21.5	32.3
(うち委託料)	133,768	13.3	11.5	15.3
研究研修費	1,615			
資産減耗費	897			
(2) 医業外費用	39,082			
(うち支払利息)	1,886	0.2	0.9	1.1
(3) 特別損失	900			
損益	経常損益	7,255		
	純損益	6,476		
累積欠損金		1,094,900		
経常収支比率		100.5	96.5	96.4
医業収支比率		76.8	86.0	72.4
修正医業収支比率		73.9	83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率		28.1	11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率		37.9	13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率		28.1	11.5	24.2
実質収益対経常費用比率		72.3	85.4	73.0

備考：

「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				新潟県	
市町村・組合名		さくら福祉保健事務組合			
病院名		南部郷厚生病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,959㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	70	65.2	71.1	75.2
療養	50	48.9	64.6	72.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	58.4	68.4	74.0
平均在院日数(一般病床のみ)		139.3	150.1	115.4

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		2,058,880		
1 固定資産		1,546,148		
(1) 有形固定資産		1,546,148		
(2) 無形固定資産		-		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		512,732		
(1) 現金及び預金		455,347		
(2) 未収金及び未収収益		57,485		
(3) 貸倒引当金()		102		
(4) 貯蔵品		-		
3 繰延資産		-		
負債合計		994,641		
1 固定負債		807,128		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		807,128		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		161,305		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		151,877		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		736		
(6) リース債務		1,147		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		7,545		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		26,208		
(1) 長期前受金		51,605		
(2) 長期前受金収益化累計額()		25,397		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		1,064,239		
1 資本金		1,055,773		
2 剰余金		8,466		
(1) 資本剰余金		-		
(2) 利益剰余金		8,466		
負債・資本合計		2,058,880		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	11,217	14,415
資本勘定繰入	98,603	48,580
計	109,820	62,995

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。
